

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム やさしい時間作成日: 平成 29 年 10 月 26 日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議を定期的開催しているが、参加委員が固定化し、報告が中心になっている。会議の運営について検討し、参加型や勉強会を盛り込む等、参加委員にとっても知識や情報を得る会議として、有意義な会議を目指していく。	参加委員を有識者、知見者、薬剤師、複数の民生委員から参加を募り、会議の活性化を図り、ホームの繁栄だけでなく、参加委員にとっても知識や情報を得られる場として、参加したくなる会議を目指していく。また、年に数回家族が参加しやすい日時に会議を開催することを検討していく。	12ヶ月
2	51	日常的な外出の支援	職員の勤務体制や出勤職員の状態に合わせて、利用者と職員が、散歩や買い物に出かけ、利用者の気分転換を図っていく。また、家族に協力を要請し、利用者と外出できる取り組みを支援していく。	日常的な外出の支援に取り組み、利用者の希望を聴きながら、担当を決めて外出レクを企画し、外出が利用者の生きる力を引き出せるように取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。